

JIS B2708 冷間成形引張コイルスプリング許容差

項 目	許 容 差 又 は 範 囲			
自由高さ	ばね特性の指定がある場合は、参考値とする。			
	D/d \ 等級	1級	2級	3級
	4以上 8以下	±1%最少±0.2	±2%最少±0.5	±3%最少±0.6
	8を超え15以下	±1.5%最少±0.6	±3%最少±0.7	±4%最少±0.7
コイル直径	コイル直系の許容差は、外径で規定する。			
	D/d \ 等級	1級	2級	3級
	4以上 8以下	±1%最少±0.15	±1.5%最少±0.2	±2.5%最少±0.4
	8を超え15以下	±1.5%最少±0.2	±2%最少±0.3	±3%最少±0.5
総巻数及びフックの対向角	総巻数は原則として参考値とし、フック対向角の許容差は当事者間の協定に依る。			
ばね特性	指 定	ばね特性は通常指定高さの時の荷重を指定する。但し特に必要とする場合はばね定数を指定する事が出来る。		
	測 定	ばね特性の測定は、通常試験荷重を1回負荷した後、行う。		
	指定長さの時の荷重	有効巻数が、5巻を超えるばねにおける指定長さ時の荷重の許容差は次による。 ±[(初張力 × α) + {指定長さ時の荷重 - 初張力} × β]		
	値 \ 等級	1級	2級	3級
	α・ 初張力のバラツキ	0.10	0.15	0.20
	β・ 荷重のバラツキ	0.05	0.10	0.15
ばね定数	有効巻数 \ 等級	1級	2級	3級
	3を超え10以下	±5%	±10%	±15%
	10を超えるもの	±4%	±8%	±12%